別記第５号様式

被害防止計画目標評価報告書

１．対象地域及び実施期間

|  |  |
| --- | --- |
| 対象地域 | 山陽小野田市 |
| 実施期間 | 令和２年度～令和４年度 |

２．被害防止計画目標の達成状況

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 被害防止計画目標 | 基準年（年度）の実績値（Ａ） | 目標値（Ｂ） | 目標年（年度）の実績値（Ｃ） | 達成率（％）Ａ－Ｃ／Ａ－Ｂ | 備考 |
| イノシシ | 6.58ha | 4.60ha | 4.99ha | 80% |  |
| 9,025千円 | 6,317千円 | 5,849千円 | 117% |  |
| カラス | 0.22ha | 0.15ha | 0.15ha | 100% |  |
| 486千円 | 340千円 | 625千円 | -95% |  |
| ヒヨドリ | 0.12ha | 0.08ha | 0.14ha | -50% |  |
| 358千円 | 250千円 | 430千円 | -67% |  |
| シカ | 0.10ha | 0.07ha | 0.40ha | -1,000% |  |
| 272千円 | 190千円 | 694千円 | -515% |  |
| サル | 0.05ha | 0.03ha | 0.03ha | 100% |  |
| 55千円 | 38千円 | 25千円 | 176% |  |
| ヌートリア | 0.10ha | 0.07ha | 0.11ha | -33% |  |
| 205千円 | 143千円 | 159千円 | 74% |  |
| 被害面積 | 7.17ha | 5.00ha | 5.82ha | 62％ |  |
| 金額 | 10,401千円 | 7,278千円 | 7,782千円 | 84％ |  |

３．目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業内容 | 事業量 | 管理主体 | 供用開始日 | 事業効果 |
| R2年度緊急捕獲 | ｲﾉｼｼ　76頭ｼｶ　　6頭 |  |  | イノシシの捕獲により農業被害が軽減された |
| R3年度緊急捕獲捕獲機材導入重点捕獲対策強化 | ｲﾉｼｼ　120頭ｼｶ　　3頭ﾇｰﾄﾘｱ用小型箱わな　6基ｲﾉｼｼ用箱わな4基 | 山陽小野田市有害鳥獣対策協議会 | R4.3月R4.3月 | イノシシの捕獲により農業被害が軽減された地元要望に対応することができ、有害鳥獣の捕獲推進へとつながった。 |
| R4年度緊急捕獲捕獲機材導入ICT捕獲機材 | ｲﾉｼｼ　110頭ｼｶ　　1頭ｻﾙ　　1頭ｲﾉｼｼ用箱わな3基ｲﾉｼｼ・ｼｶ用くくりわな20基獣サイズ判別センサー4基捕獲パトロールシステム親機　1基子機　4基 | 山陽小野田市有害鳥獣対策協議会 | R5.1月R5.1月 | イノシシの捕獲により農業被害が軽減された地元要望に対応することができ、有害鳥獣の捕獲推進へとつながった。わなの見回りへの省力化へつながった。 |

４．総合評価

|  |
| --- |
| サルに関しては、被害面積及び金額ともに、イノシシに関しても被害面積で目標値を達成できた。　しかしながら、シカの被害が基準年を上回る水準となった。近年、市内でもシカの目撃情報が徐々に増加傾向にあるため、今後はシカの捕獲にも力を入れていく必要がある。 |

５．第三者の意見

|  |
| --- |
| 山陽小野田市では、イノシシ・カラス・ヒヨドリなどの被害があり、特にイノシシ被害が深刻な状況にあります。被害対策として、緊急捕獲活動による捕獲で対応し、イノシシ被害については、被害防止計画の目標を達成されています。　イノシシについては、捕獲対策で効果を上げていますが、その他の鳥獣については、被害が軽減できていないものがありますので、捕獲以外の被害対策の検討をお願いします。これまで被害が少なかったニホンジカやヌートリアについて、目撃情報や被害が増えつつあるようなので、対策をご検討ください。とくに特定外来生物であるヌートリアについては、繁殖力が旺盛なので、被害が広がる前に捕獲対策を講じていただきたい。山陽小野田市の鳥獣被害は深刻な状況にはありませんが、農作物被害は今も続いているので、今後は、これまでの対策に加えて、被害防除・個体数管理・生息地管理の3つを総合的に進める指導を農家に行いながら対策を進める必要があると考えます。現状把握の集落点検調査を行いながら農家と連携して「地域ぐるみ活動対策プラン」を作成し、集落単位の被害対策にも力を入れていただきたい。 |

（注）１　被害防止計画目標の達成状況が低調である場合は、改善計画を作成し、知事に提出すること。

２　３の事業効果には、別添様式を参考に事業の実施により発現した効果を幅広かつ定量的に記入すること。なお、処理加工施設や捕獲技術高度化施設を整備した場合は、当該施設の利用率も記入すること。

３　４の総合評価のコメントには、目標が未達成となった場合は、その理由も記入すること。

４　鳥獣被害防止施設の整備を行った場合には、侵入防止柵設置後のほ場ごとの鳥獣被害の状況並びに侵入防止柵の設置及び維持管理の状況について、地区名、侵入防止柵の種類・設置距離、事業費、国費、被害金額、被害面積、被害量、被害が生じた場合の要因と対応策、設置に係る指導内容、維持管理方法、維持管理状況等を様式に具体的に記載し、添付すること。